



みどり
緑でいっぱい
よこはま
横浜のくらし

よこはまし
春はすぐそこ、横浜市のとりくみや

みどり
緑を感じるスポットを紹介します。

くわしいことは2・3ページへ



市長だより

よこはま だいとし
横浜は、大都市なのに、花と緑が多い街並み、いろいろな生き物がくらすゆたかな森、そして水田や畑が広がる美しい里山など、身近な場所にたくさんの自然があります。

よこはまし
横浜市が「横浜みどりアップ計画」をすすめてきたことで2009年からの14年間で、横浜スタジアムのおよそ300個分にあたる1,050ヘクタールもの森や林、市内の水田の面積のおよそ90%を手入れしてまもることができました。27か所だった「市民の森」を新しく16か所ふやして、43か所にしました。このように市民のみなさんといっしょに、ゆたかな緑をまもり育ててきました。

こうした市民の森や、身近な公園の花と緑をまもっているのは、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター、森づくりボランティア

のみなさんです。たくさんの人たちがそれぞれの地域で活動をして緑をまもっています。それが横浜の環境をまもり、地域の絆を強くすることにもつながっています。

いよいよ3年後に横浜・上瀬谷で「GREEN×EXPO 2027」が開かれます。このような環境をまもる活動をしている人たちをはじめとして、市民のみなさんといっしょにつくっていく、新しいかたちの国際博覧会です。「この博覧会で環境をまもる“横浜市民の力”を世界に発信していきたい!」と考えています。「GREEN×EXPO 2027」で勢いをつけながら、市民のみなさんといっしょに横浜の美しい緑を将来に引きついでいけるよう、これからも努力していきます。

よこはまし
市長 山中竹春

よこはま 横浜の身近な緑

横浜の緑が多い美しい街並み・公園・自然ゆたかな里山などは、市民のみなさんに親しまれ、地域のボランティアなどたくさんの人にささえられています。100年後も、横浜が緑でいっぱいの街であるために、今ある緑を大切に育てて、未来に引きついでいきます。

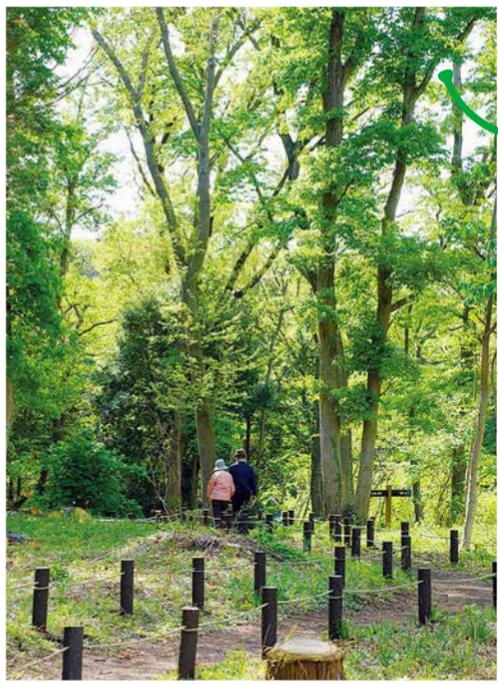
子育て世帯アンケート調査(2022年度)

Q.住んでいる地域の魅力だと思うものを教えてください【10項目から】

62.6% 身近に公園や緑、農地があり、自然にふれる場所がある

Q.住んでいるところのまわりの環境にとって、どんなことが重要だと考えますか【8項目から】

75.7% 身近に公園や緑があり、自然にふれる場所がある



▲古橋市民の森(泉区)



1971年からスタートした横浜市だけの緑地を手入れしてまもる制度です。土地の持ち主に協力してもらい、市民のみなさんが散歩したり生き物を観察して楽しめるようにしています。「横浜みどりアップ計画」を始めてから新しく16か所ふえて、現在は43か所になりました。



市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップはこちら

マップは市役所3階市民情報センターでももらえます。

広報よこはまPlusでは、横浜自然観察の森について紹介しています。



2020年5月



2021年7月



2022年6月

明るく木もれ日が入る森や林にするためには、手入れが必要です。時間をかけて、よい森を育てています。



市民の森をささえる森づくりボランティア

市民の森や公園など木々があるところでは、およそ80ある愛護会、森づくり活動団体、ボランティアのみなさんが草刈り・間伐活動をして、さまざまな生き物のすみかになる良好な森の環境をまもっています。

鴨居原市民の森愛護会の活動



とくれいりんじせつしゆ 特例臨時接種による
しんがた 新型コロナワクチンの無料接種は

3月31日(日よう)で終わります

しよやくシステムの予約受付は3月29日(金よう)18:00まで(ウェブ予約/LINE予約)

ワクチン接種は、効果と副反応を理解して、うけるかどうかを決めてください。ワクチンの効果と副反応についてはこちら▶



わか 若い人も接種できます

ねんど 2024年度 ワクチン接種について

じゆうしよう 重症にならないようにする目的で、接種(定期予防接種)を秋から冬の時期に行う予定です。くわしいことが決まったら、市ウェブページなどでお知らせします。



くわしいことはこちら

定期予防接種について(予定)

【対象になる人】

65歳以上、60~64歳で一定の障害がある人

【費用】有料(一部または全額を助成します)

※対象ではない人も、接種をうけたい人はうけることができます(全額を自分でしはらうことになります)

予約

3月29日(金よう)まで

ワクチン接種予約センター

TEL:0120-045-112

FAX:045-550-4226

きくところ

3月30日(土よう)まで

ワクチン接種コールセンター

TEL:0120-045-070

FAX:050-3588-7191

9:00~17:00

月~土よう(祝・休日はお休み)

よこはま 彩見 vol.15

海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩見」として届けていきます。今月は作家の山崎洋子さんが横浜中華街(中区)について書いてくれました。

ちゅうかがいはな ひみつ 中華街・華やぎの秘密

作家 山崎 洋子

もっとくわしい話はこちら



ウェブ版では、抽選で読者プレゼントがあります

遠くからたずねてきた友だちに「あなたが一番自慢したい『横浜』に案内して」と言われて、すぐに中華街に決めました。横浜をよく知っているみたいな顔をして、そんなあたり前の観光地へ行くの? と言われそうですが、いやいや、私が案内したいのは、おいしい料理とアジア雑貨だけではありません。この町のなりたちを知り、より味わいが深いひと時を楽しんでほしいのです。

幕末(=江戸時代の終わり)、日本は長い鎖国(=外国とまったく付き合わないこと)をやめて開国しました。そぼくな横浜村がその玄関口にえらばれて、外国の人、物、文化がなだれのように上陸して、ものすごい速さで国際都市に変わって



▲横浜中華街 (みなとみらい線「元町・中華街」駅から)

いきました。とはいえコミュニケーションの問題がありました。言葉の壁は大きかったのです。

そこで大活躍したのが、初めは欧米人(=アメリカやヨーロッパの人たち)の使用者として日本に来た中国人たちでした。日本とは「漢字」という共通の言語があります。それに中国人には「華僑」という生きかたがあります。生まれは中国だが、外国

へわたり、その国で生きる人たちのことを華僑といいます。彼らは東洋と西洋の両方をよく知っています。活躍する場面は通訳だけではありませんでした。海外貿易のルールから西洋の新しい産業技術まで、日本人に教えてくれたのです。欧米の国々、日本、どちらにもなくてはならない存在になり、その人数もふえていきました。

華僑は根を下ろした国に自分たちが住む町を作ります。それがチャイナタウンです。私たちの横浜中華街は、世界でもっとも華やかなチャイナタウンとして知られています。でも歴史をふり返れば、決して平和でおだやかなあゆみではありませんでした。日清戦争(1894~1895)、日中戦争(1937~1945)のときには、敵国の真ただ中で生きるしかありませんでした。それでもこの街の灯は消えませんでした。それどころかさらに輝きをましています。なにがあっても、私たちはこの街を愛しているのです。

じつは意外と知られていない歴史の一場面があります。1872年、日本と中国の間どころか国際社会に大きな影響をあたえる大事件が横浜で起こりました。驚かずにはいられないその話は、右上の二次元コードからどうぞ。

山崎 洋子(やまざき ようこ)

1947年、京都府で生まれ、いまは横浜市に住む。第32回江戸川乱歩賞受賞。『横浜開港絵巻 赤い崖の女』『横濱唐人お吉異聞』『天使はブルースを歌う』など横浜を舞台にした作品が多い。



きくところ 政策局広報課 TEL:045-671-2331 FAX:045-661-2351

花と緑でいっぱいの春の横浜へ

ガーデンネックレス横浜2024 3月23日(土よう)~6月9日(日よう)

港の景色とともに桜・チューリップ・バラを楽しめる山下公園・港の見える丘公園や、横浜産の花で色とりどりの大花壇がある里山ガーデンなど、市内の見どころにぜひ出かけてください。

3月の見どころを紹介!



桜が楽しめるスポット

みなとみらいなどの横浜の風景とともに美しい桜が楽しめます。

【会場】みなとみらい21地区さくら通り、自動車道、大岡川、カップヌードルミュージアムパーク、山下公園、港の見える丘公園、元町公園など

【期間】3月の終わり~4月の終わりごろ



里山ガーデンフェスタ

100品種以上の色とりどりの花が春の大花壇をかざります。よこはま動物園ズーラシアなどその近くの施設の割引サービスが利用できるスタンプラリーも行う予定です。

【会場】よこはま動物園ズーラシアのとなり(旭区上白根町1425-4)

【期間】3月23日(土よう)~5月6日(月よう・休日)

きくところ ハローダイヤル TEL:050-5548-8686(毎日9:00~20:00 6月10日まで) FAX:045-224-6627



くわしいことはこちら



横浜の花と緑をPRする マスコットキャラクター「ガーデンペア」©ITOON/GN



さとやま 里山ガーデンフェスタについてはこちら

日本で初めて作品を展示するアーティスト多数 第8回横浜トリエンナーレ 開幕!

2001年から横浜を舞台に、3年に一度開かれる現代アートの国際展がいよいよ開幕です。これまで世界のアーティストをたくさん紹介してきました。今年は駅や商業施設にもアートが出現し、より気軽にアートを楽しむことができます。日本で初めて紹介されるアーティストの作品など、ここでしか見られない最先端のアートにふれて、心が動く瞬間を感じてみませんか。

【期間】3月15日(金)～6月9日(日)
【時間】10:00～18:00(6月6日～9日は20:00まで)
【お休み】木よう(4月4日、5月2日、6月6日はオープン)
【テーマ】『野草:いま、ここで生きてる』
【会場】横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO、クイーンズスクエア横浜、元町・中華街駅連絡通路

オンラインチケットが便利です!

市民のみなさんは特別価格で買えます。
もっとお得な前売割は3月14日(木)まで



詳しいことはこちら

ピッパ・ガーナー
ジェンダーを超えた作品で知られ、多様性のありかたを社会に問いかけます。
《Human Prototype》2020, Courtesy of the artist and STARS, Los Angeles, Photo: Bennet Perez



きくところ ハローダイヤル TEL:050-5541-8600(9:00～20:00 6月9日まで) FAX:045-681-7606

令和6年(2024年)能登半島地震の 被害があった地域を支援しています

横浜市では、地震のすぐ後から、「横浜市被災地支援チーム」を立ち上げて、支援を開始しました。

おもな支援について

- 航空消防隊や陸上部隊をはけん
- 上下水道施設の応急・復旧を支援
- 応急危険度判定士や保健師をふくむ職員をはけん
- 水・ビスケット・毛布などの救援物資を提供 など

これからも、被害にあった地域のみなさんが少しでも早くふつうの生活をとりもどして、復旧・復興がすすむように支援していきます。



最新のとりくみのようすはこちら



きくところ 総務局危機管理課

TEL:045-671-2171 FAX:045-641-1677

自分の家のそなえを確認しよう!

能登半島地震では、長いあいだの断水で生活用水が不足し、電気やガスも使えないため、きびしい寒さが深刻な状況になっています。東日本大震災から13年目の3月、季節のことも考えて、備蓄品を見直しましょう。

災害のときに必要なもの、準備できていますか?

備蓄する量のめやすは少なくとも3日分(できれば1週間分)

水

1人3日分、9リットルがめやすです。家族全員の分を準備しましょう。



食料

アレルギーのある人、赤ちゃんや小さい子どもがいる人などは、必要なものを考えて備蓄しましょう。



トイレパック

1人1日5回×3日分の15個がめやすです。



そのほかの備蓄品リストはこちら

災害が起きたときには

地域での助け合いがとても大切です。ふだんから関係づくりをしましょう。物資や情報の中心になる地域防災拠点の訓練に参加しましょう。

自分の家が安全なら

自宅避難

(=そのまま自分の家で生活すること)

● 食べものなどをたくわえて、家具がたおれないように、またものが落ちてこないようにしましょう。



自宅避難についてはこちら

自分の家で生活できないなら

地域防災拠点へ

● 避難する時は、できるだけ自分の家でたくわえていたものを持っていきましょう。



地域防災拠点についてはこちら

避難所へのルート案内もできる防災アプリ

横浜市避難ナビは

こちら



きくところ 総務局地域防災課避難等支援担当 TEL:045-671-2011 FAX:045-641-1677